

令和元年度事業報告

本協議会は、関西エアポート株式会社による自律的な運営を尊重しつつ、航空会社、自治体など関係機関と連携し、航空ネットワークの強化やインバウンドの拡大、関西の魅力発信と輸出促進など、前年度の取組を継続、深化させ、関空を活用した関西全体の成長・発展を促進させる取組を行った。

I 各種会議等の開催及び要望活動の実施

決算額 1,478千円

国等関係機関との協議・調整活動を行うとともに、構成団体間で、本協議会の運営などに関する合意形成に努めた。

また、関西エアポート株式会社と連携し、国等関係機関に対して、関空の機能強化のための施策推進に向け、要望活動を行った。

(1) 総会の開催

- ・開催日：令和元年7月24日
- ・議事：①役員選出の件
②平成30年度事業報告及び収支決算報告の件
③令和元年度事業計画及び収支予算の件
- ・要望決議

(2) 理事会の開催

- ・開催日：平成31年4月8日
- ・議事：副会長の選任について

- ・開催日：令和元年6月10日
- ・議事：副会長の選任について

- ・開催日：令和元年7月16日
- ・議事：総会への付議議案について

- ・開催日：令和元年8月2日
- ・議事：役員を選任について

- ・開催日：令和元年9月5日
- ・議事：関西国際空港の強化に向けた要望書（案）について

(3) 理事・特別参与・参与団体担当課長会議（事務局会議）の開催

・開催日：令和元年7月8日

・議事：①令和元年度促進協總會議案について
②令和元年度促進協要望について
③その他

・開催日：令和2年2月14日

・議事：①令和元年度事業の取組状況と決算見込みについて
②関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業の総括と今後の方向性について
③令和2年度の暫定予算について
④その他

(4) 要望活動の実施

・令和元年9月18日及び19日に、国土交通省、法務省を訪問し、関空の防災機能強化やインバウンドの受入環境の改善等への積極的な支援のほか、関西3空港懇談会の取りまとめに沿って、関空の容量拡張の可能性の検討について、適切な関与と支援を要望した。

II 広報活動の実施

決算額 509千円

(1) ホームページ及びメールマガジンによる情報発信

本協議会の活動状況のほか、関空や航空会社に関する情報、各自治体の観光情報などを協議会ホームページに掲載するとともに、メールマガジンを毎月1回配信した。

(2) PRパンフレットの作成

本協議会PRパンフレット「国際拠点空港としてのさらなる発展をめざして」を日本語（1,000部）・英語（200部）で作成し、会議や国への要望活動等の場にて活用した。

III 管理運営

決算額 699千円

本協議会の運営を行い、必要な事務局経費の支出及び経理処理を行った。

IV 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

関空を活用した関西の発展とアジアのゲートウェイを目指す関空の成長に資するよう、関係機関との共同・連携を図り、「航空ネットワークの強化とインバウンド拡大」、「関西の魅力発信と食の輸出促進」、「関西国際空港のアクセス利便性の向上」の取組を行った。

(1) 航空ネットワークの強化とインバウンド拡大 決算額 15,097千円

①航空会社と連携した関西インバウンド促進共同事業等の実施

関空のインバウンド効果を関西一円へ浸透させ、関空の航空路線の維持・強化につなげることを目的に、中長距離路線を運航する航空会社や自治体等との共同・連携により、海外の旅行会社を対象とした招聘旅行を実施し、関西を素材とした旅行商品造成などに繋げていく取組を行った。

また、その魅力が未だ知られていない地域の観光資源を地域とともに発掘し、海外へ発信するため、関西ローカルの観光資源発掘・PR事業（パイロット事業）を実施し、海外のインフルエンサー等による体験取材やSNSを活用した情報発信等により、地域の認知度を高めて誘客を図る取組を行った。

さらに、G20大阪サミット期間中に、訪日外国人が円滑に関空を利用し旅行できるよう、公共交通機関等の多言語ウェブサイトに関する情報カードを作成、配布した。（12万枚）

航空会社	実施時期	実施内容
エミレーツ航空	令和元年12月～	旅行代理店の招聘旅行 関西向け旅行商品の造成※ （訪問先：京都府、大阪府、和歌山県）
ブリティッシュ・エア ウェイズ	令和2年2月～	旅行代理店の招聘旅行 関西向け旅行商品の造成※ （訪問先：大阪府、兵庫県）
チャイナエアライン	令和元年12月～	<パイロット事業> 体験取材と販促キャンペーン （訪問先：大阪府、兵庫県、和歌山県）
ピーチ・アビエーション	令和2年1月～	<パイロット事業> 体験取材と情報発信※ （訪問先：兵庫県）

※関西向け旅行商品の造成や情報発信については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中断したが、今後の国際線の回復状況を踏まえて、再開する予定

(2) 関西の魅力発信と食の輸出促進 決算額 4,550千円

①関西の魅力と特産品の発信

訪日外国人等に対し、関西の魅力をPRするため、関西の自治体、関西エアポート株式会社等との連携のもと、空港ターミナルにおける地域の特産品や観光・文化のPR活動を推進した。

②食の輸出手続のワンストップ化の推進

関西からの「食」の輸出を促進するため、国の理解・協力のもと、大阪商工会議所と共同で、複数の食の輸出関連証明書をワンストップで交付し、輸出手続きの利便性向上を図る実証実験を行い、同会議所において国の輸出証明書を9,490件交付した。

なお、本実証実験に関して利用者にヒアリングした結果、大阪商工会議所における輸出証明書交付のニーズが高かったこと、また、交付件数が増加してきた実績も踏まえ、本年3月からは、同会議所において利用者負担により交付を継続することが決定した。

③関空の航空輸送推進

関空の強みである高品質な医薬品輸送環境を活かし、国際航空貨物の需要を取り込むため、関空の国際航空貨物事業者で構成するKIX Pharmaコミュニティと共同で、首都圏の製薬メーカーを対象に、関空の医薬品輸送のメリットなどに関するセミナー等を開催した。

(3) 関西国際空港のアクセス利便性の向上

決算額 80千円

関空と神戸を高速船により短時間で結ぶ海上アクセスについて、海外及び訪日外国人向けにPRするための広報活動に対して支援した。